

令和6（2024）年度10月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士後期課程）

# 学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜

社 会 人 特 別 選 抜

外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

\*本募集要項（英語版）を人間社会環境研究科Webサイト（英語版）に掲載しています。

[https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/admissions/adm\\_doctor/](https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/admissions/adm_doctor/)



（注意）

出願する入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

（自然災害・感染症等に関する本学大学院入学試験における対応）

今後の状況の変化により、急遽、試験日時、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。その場合は、人間社会環境研究科Webサイトでお知らせします。



令和6年4月



金沢大学

KANAZAWA  
UNIVERSITY

## 日程(博士後期課程)

事 項	日 程
出願資格の認定 (本要項2ページの「3 出願資格⑥、⑦、⑧」 により出願を希望する 者)	出 願 資 格 事 前 審 査 提 出 期 限  審 査 結 果 通 知
	令和6(2024)年5月13日(月)午後5時
	令和6(2024)年5月下旬
出 願 期 間	令和6(2024)年6月5日(水)午前9時から 令和6(2024)年6月12日(水)午後5時まで
試 験 期 日	令和6(2024)年7月11日(木)
合 格 者 発 表 日 時	令和6(2024)年7月29日(月)午後4時(予定)

## 目 次

1	入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) . . . . .	1
2	募集人員 . . . . .	1
3	出願資格 . . . . .	1
4	出願資格事前審査 . . . . .	2
5	出願期間 . . . . .	3
6	出願手続 . . . . .	3
7	受験票の印刷 . . . . .	6
8	選抜方法 . . . . .	6
9	試験日時及び試験場 . . . . .	7
10	合格者発表 . . . . .	7
11	入学手続 . . . . .	7
12	授業料等納付金 . . . . .	7
13	その他 . . . . .	8
14	個人情報の保護 . . . . .	10
15	参考資料 . . . . .	11
16	問合せ先 . . . . .	11
17	担当教員及び専門分野 . . . . .	12

### 『自然災害により被災した志願者の検定料免除』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学Webサイトを確認してください。

本学(入試情報・高大院接続>検定料免除・返還)Webサイト

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo\\_henkan](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan)

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL : 076-264-5169 E-mail : boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



## 1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科博士後期課程の人材養成目的は、人間社会環境という多分野横断的な研究領域で活躍できる創造性豊かな大学教員、研究者及び高度専門職業人を育成することです。

したがって本専攻では、それぞれの伝統的な学問分野における高い専門能力を持つだけでなく、それを基礎に置きながら、総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めるため、他者に対する開かれた態度、異文化を尊重する広い心、それらに対する積極的な興味、未知の現象に対する柔軟な発想、そして論理性への強い志向を備えている者を求めています。

そのために入学時に身につけているべき能力として、適確に研究課題を設定し、着実に研究を遂行する計画立案能力、堅実な成果を可能にする研究技法、成果をとりまとめ分析考察して論文にまとめる論文作成能力を求めます。

## 2 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜
人間社会環境学専攻	若干名

## 3 出 願 資 格

各選抜に出願することができる者は、下表の①～⑧各号のいずれかに該当する者とします。

その他、下記選抜においては、上記に加えて次の出願資格を満たす必要があります。

社会人特別選抜：(ア)(イ)のいずれかを満たす者

(ア)企業等に在職中であり、かつ、在職のまま博士後期課程の修了を目指す者

(イ)修士の学位又は専門職学位を有し、入学時において社会人としての経験を有する者

外国人留学生特別選抜：日本国籍を有しない者

出願資格（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）
① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和6(2024)年9月30日までに取得見込みの者
② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6(2024)年9月30日までに授与見込みの者
③ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6(2024)年9月30日までに授与される見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6(2024)年9月30日までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6(2024)年9月30日までに授与される見込みの者

- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- 1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6(2024)年9月30日までに24歳に達するもの
- ⑧ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和6(2024)年9月30日までに合格見込みの者で、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

※出願資格 ⑥、⑦、⑧ により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、下記の出願資格事前審査を確認してください。

「金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する皆さんへ」

金沢大学では、金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する学生は、原則「博士論文研究基礎力審査 (Qualifying Examination)」(以下「QE」という)により修了することとしています。

QEを受験し、合格した学生は、修士論文執筆に縛られることなく、早い段階で博士論文の作成に向けた研究を進めることができます。金沢大学大学院博士前期課程から博士後期課程への学内進学を希望する学生は、出願前に所属の学務係にQE受験手続等を確認してください。

#### 4 出願資格事前審査

出願資格⑥、⑦、⑧により出願を希望する者は、出願前に、個別に出願資格審査を行いますので、「6出願手続の(2)出願書類等の③」に示す所定の提出書類を令和6(2024)年5月13日(月)午後5時(必着)までに16に記載の問合せ先へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「人間社会環境研究科博士後期課程 出願資格審査関係書類在中」と朱書きしてください。

出願資格審査の結果は5月下旬に送付します。資格有りの場合、出願資格審査時に提出した書類を出願書類とします。「6 出願手続」に従い、出願情報の登録、入学検定料の支払い及び証明写真のアップロードを行った上で、出願期間中に「出願確認票(提出用)」を「16問合せ先」まで提出してください。

## 5 出願期間

令和6(2024)年6月5日(水) 午前9時から6月12日(水) 午後5時まで

- 【注】1 Web出願システムは、令和6(2024)年5月29日(水) 午前9時から事前登録が可能。
- 2 出願書類は郵送(書留速達郵便又はEMSに限る。)するものとし、**令和6(2024)年6月12日(水) 必着**とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、令和6(2024)年6月11日(火)までの日本国内の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。
- 3 日本国外に在住している者は、令和6(2024)年5月24日(金) (※)までに「16問合せ先」へ連絡してください。出願書類の郵送方法等について案内します。
- (上記期日(※)によって出願を認めないものではありませんが、可能な限りお早めに連絡してください。)

## 6 出願手続

### (1) 出願方法

○Web出願の流れ



Web出願システム

- ① Web出願システムには、本学(入試情報) Webサイト(本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>Web出願)からアクセスできます。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet\\_entry](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry)



- ② 出願書類送付先

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課(入試・学生募集担当)(宛名ラベルに印字されています。)

〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、完了しません。出願期間内に証明写真のアップロード及び提出書類の郵送(出願期間内に必着)を済ませ、内容に不備がなかった場合に完了します。なお、書類の確認は出願期間後に実施しますので、すぐ「完了」扱いとなりません。

### (2) 出願書類等

- ① Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
---------	---

② Web出願システムから印刷するもの(印字されている内容に誤りがないか確認してください。)

出願確認票(提出用)	<p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。</p> <p>(注) 出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票(確認用)とは異なるので、注意してください。</p>
宛名ラベル	<p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください(普通紙印刷で糊付け可)。</p> <p>(注) 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、書留速達(又はEMS)で郵送してください。</p>

③ その他必要な提出書類(①②の出願書類送付先に郵送してください。Web出願システムにアップロードする必要はありません。)

各所定の様式は、本研究科Webサイトからダウンロード・印刷(A4サイズ)して利用ください。

なお、各書類への記入は、パソコン入力又はボールペンによる自筆で行ってください。

※本研究科Webサイト

[https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm\\_doctor/](https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_doctor/)



入学志願票	<p>本研究科所定の用紙に必要な事項を記入してください。</p> <p>大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用(8ページ13(2)参照)の適用を希望する者は、14条特例適用希望欄にチェックしてください。</p> <p>長期履修制度(8ページ13(3)参照)の申請を希望する者は、長期履修制度申請希望欄にチェックしてください。</p>
修了(見込)証明書(学位授与証明書)	<p>(1) 出願資格の①から⑤により出願する者は、出身大学の大学院修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程修了(見込み)証明書(修了証明書で、取得学位が確認できない場合は、学位授与証明書も提出)。</p> <p>なお、本学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了(見込み)の者は提出不要です。</p> <p>(2) 出願資格の⑥、⑦、⑧により出願する者は、最終学歴の学校長が作成した修了(見込み)証明書。</p> <p>(注) 証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
学業成績証明書	<p>(1) 出願資格の①から⑤により出願する者は、出身大学院の研究科長(又は学長等)が作成したもの。</p> <p>(2) 出願資格の⑥、⑦、⑧により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの(修得科目名及び単位数が記載されているもの)。</p> <p>(注) 証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
出願資格⑧に関する書類	<p>出願資格⑧により出願を希望する者のみ</p> <p>出身大学長等が作成し、厳封したもので、下記の内容が記載された文書及び添付書類(外国語の場合は日本語訳もしくは英訳を添付してください)。</p> <p><b>【記載例】</b></p> <p>本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者である。また、当該審査に関する次の添付資料を同封する。</p> <p><b>【添付書類の例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該審査の合格基準</li> <li>・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類</li> <li>・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類</li> </ul>

論文等	<p>(1) 出願資格①から⑤により出願する者は、次のいずれかを4部提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文</li> <li>・リサーチペーパー（若しくはそれに代わる特定の課題についての研究成果）</li> <li>・研究論文</li> <li>・出願資格取得後の教育・研究機関や地方自治体若しくは企業等における調査研究報告書等又はその写し</li> </ul> <p>(2) 出願資格⑥、⑦、⑧により出願する者は、研究論文、大学卒業後の教育・研究機関や地方自治体若しくは企業等における調査研究報告書等又はその写しを4部提出してください。（共同執筆の場合は、志願者の執筆担当箇所を明示してください。）</p> <p>(1)及び(2)ともに、日本語（1,000字程度）又は英語（300ワード程度）による論文の概要を4部添付してください。</p> <p>なお、上記のほか、すでに公表した研究論文等があれば、研究業績リスト（本研究科所定の様式による。）にすべてを記載し、かつ、その中で特に主要なものの別刷又はその写しを4部添付してください。</p> <p>また、未公表の研究論文等を審査のための参考資料として提出することも可とします。その場合は、提出する参考資料のリスト（様式任意）を作成し、参考資料又はその写しを4部提出してください。</p>
研究計画書	<p>(1) 本研究科所定の様式により作成してください。</p> <p>（外国人留学生特別選抜の者は、これまでの研究経過及び本研究科における研究計画等について具体的に記入してください。）</p> <p>(2) <u>志願者は、出願前に必ず主任指導予定教員の承諾を得てください。</u></p>
受験承諾書 （社会人特別選抜のみ提出）	<p>在職のまま出願する者は、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。</p> <p>なお、出願時に提出できない場合は、必ず出願書類提出前に、「16問合せ先」に電子メールで連絡してください。入学手続き時に承諾書等を提出することとします。</p>
その他 （外国人の志願者のみ提出）	<p>外国人の志願者は、次の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポート（本人の氏名、生年月日、性別）の写し</li> </ul> <p>なお、日本に在留する外国人は、次の書類も併せて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在留カード（表・裏）の写し</li> </ul>

- 【注】 1 証明書等の氏名が入学願書等に記載する氏名と異なる場合（改姓している場合等）には、改姓等の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- 2 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 出願受理後の書類の変更、提出書類の返却はしません。
- 4 出願書類等に虚偽の記載又は不正な申告があったときは、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、その場合、振り込まれた入学料は返還しません。

### (3) 入学検定料の支払

- ① 入学検定料 30,000円 ※入学検定料のほかに、サービス利用料として別途990円が必要です。

《注意》学内進学者（本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者）及び国費外国人留学生は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、「16に問合せ先」まで連絡してください。

## ② 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club)及びネットバンキング(PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。)のいずれかで支払可能です。

### 【注】

- 1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報(特にメールアドレスや電話番号)に間違いがないか確認してください。
- 2 銀行窓口での支払はできません。
- 3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
- 4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- 5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、令和7(2025)年3月31日(月)までに手続きを行ってください。返還手続方法は以下のWebサイトで確認してください。

本学(入試情報)Webサイト(本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>検定料免除・返還)

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo\\_henkan](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan)



## 7 受験票の印刷

令和6(2024)年6月26日(水)頃に、Web出願システムから受験票の印刷が可能になります。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、「16問合せ先」まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

## 8 選抜方法

### (1) 選抜区分

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

### (2) 選抜方法

口述試験、研究計画書、提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行われます。

なお、博士論文研究基礎力審査(QE)による特別選抜は、出願者に別途お知らせします。

### (3) 口述試験

修士論文等(又は概要、研究論文、調査研究報告書等)及び研究計画書を中心に行います。研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

社会人特別選抜では、社会経験を生かした専門知識等を積極的に評価します。

外国人留学生特別選抜では、原則として英語で実施します。研究上必要な場合は、日本語の能力を問うことがあります。

## 9 試験日時及び試験場

試験日時	試験科目	試験場
令和6(2024)年 7月11日(木) 午前9時30分～午後5時45分 ※上記時間内で指定する時間 (約1時間)	口述試験	金沢大学角間キャンパス (詳細は受験票印刷時に確認)

※口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

※海外に在住し、やむを得ない事情により試験当日に渡日が困難な場合には、インターネット等による口述試験を認める場合がありますので、令和6(2024)年5月31日(金)までに指導を希望する教員に申し出てください。

※博士論文研究基礎力審査(QE)による特別選抜の試験期日及び試験場は、出願者に別途お知らせします。

## 10 合格者発表

令和6(2024)年7月29日(月)午後4時(予定)

合格者の受験番号を本学所定の掲示板(人間社会第2講義棟1階学生課前)及び本研究科Webサイトにおいて掲示するとともに、「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。合格通知書が必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください(合格通知書は送付しません)。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

また、合格者は、人間社会環境研究科長あて「入学意思確認届」(様式は、研究科Webサイトに掲載)を「16問合せ先」までメールで提出してください。

本研究科Webサイト

<https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai>



## 11 入学手続

合格者発表後に送付する「入学手続要項」により所定の期日までに入学手続を行ってください。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書(残高100万円以上)の提出が求められます(在留資格認定証明書(COE)交付申請のため)。

## 12 授業料等納付金

(1) 入学科 282,000円(予定)

※令和6年3月に本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学科の納入は不要です。

(2) 授業料(半期分) 267,900円(予定) [年額 535,800円(予定)]

【注】① 上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料を改定した場合には、改定時から新たな金額を適用します。

② 授業料の納入は、預金口座振替（届出口座）から指定日に自動引落により納入する方法となります。

③ 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

④ 授業料免除については、以下のWebサイトで確認してください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition\\_waiver](https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver)



- (3) 学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料 3,620円（3年分）  
外国人留学生には学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）への加入を強く推奨します。  
詳細は、留学生オリエンテーションで説明します。

## 13 その他

### (1) 英語外部検定試験のスコアの取得

本研究科では英語能力強化の一環として、入学者に対し、原則、一定の基準を満たす英語の外部検定試験のスコアの取得を修了要件の一つとしています。

ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

- ① TOEIC(L&R) 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者
- ② 社会人特別選抜により本研究科に入学した者
- ③ 英語母語話者（一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者）
- ④ 英語母語話者ではないが、英語を公用語とする国で高等教育機関（大学等）を卒業した者
- ⑤ その他研究科長が特に認めた者

### (2) 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」（昼夜開講制）の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

希望する場合は、入学志願票の14条特例希望欄にを入れてください。

また、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。

参 考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお、本研究科は同基準第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

### (3) 長期履修制度

本研究科では、仕事あるいは家事、育児、介護等に従事している人たちのために、標準修業年限を超えて履修を認める特別な制度（長期履修制度）を設けています。この制度を利用すれば、大学院学則に規定される在学年限（原則として、博士後期課程は6年）の範囲内で、長期履修期間を設定することができます。授業料は、標準修業年限（3年）の授業料総額を長期履修として認められた期間に学期ごとに均分して支払うことになります。

対象となる学生は次のいずれかに該当する者で、標準就業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

ア 有職者（臨時雇用を含む）

イ 家事、育児、介護等に従事している者

ウ 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者  
長期履修を希望する場合は、入学志願票の長期履修制度希望欄に☑を入れてください。申請  
しても許可されないこともありますので、ご了承ください。

(4) 障がいのある者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願資格事前審査  
の書類提出期限までに次の書類を16に記載の問合せ先へ提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は自由。）

- ① 氏名、住所、連絡先、志望コース名
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ④ 大学等で配慮されていた事項
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しでも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

(5) 金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。

詳しくは以下のWebサイトを確認してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/>



(6) 「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（HaKaSe+）で実施する博士人材  
育成事業の1つとして、「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト”が  
あります。申請資格を満たせば申請でき、所定の選抜を受け、採用された場合、次の支援を受  
けることができます。

- ① 給付型の研究奨励費 [月額18万円（年額216万円）]
- ② 研究費 [年額40万円]
- ③ 旅費等支援
- ④ 授業料半額免除

（金額は令和6年度適用内容）

なお、申請に際しては、申請資格を満たすこと及び採用者の義務の遵守を誓約することが求  
められますので、詳細は、以下のWebサイトを確認する、又は担当へ問合せってください。

担当 学務部学務課 E-mail [jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp)

Webサイト 金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（HaKaSe+）

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(7) 外国人留学生日本就職促進プログラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」  
日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸としたプログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本での就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」に係る問合せ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045

Link KAGAYAKI Webサイト

<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



Link KAGAYAKI事務局メール

[kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)



## 14 個人情報の保護

金沢大学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類に記載されている全ての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

## 15 参 考 資 料

入学年度	人間社会環境学専攻		
	入学志願者	合格者数	入学者数
2014年度（4月期）	24	13	13
2014年度（10月期）	4	2	2
2015年度（4月期）	20	15	13
2015年度（10月期）	2	2	2
2016年度（4月期）	25	15	14
2016年度（10月期）	3	2	2
2017年度（4月期）	25	17	15
2017年度（10月期）	8	8	2
2018年度（4月期）	16	11	11
2018年度（10月期）	4	4	4
2019年度（4月期）	13	13	12
2019年度（10月期）	1	1	1
2020年度（4月期）	17	12	11
2020年度（10月期）	4	4	5 <sup>*1</sup>
2021年度（4月期）	14	9	9
2021年度（10月期）	3	3	3
2022年度（4月期）	11	11	11
2022年度（10月期）	6	3	3
2023年度（4月期）	15	11	11
2023年度（10月期）	3	3	3
2024年度（4月期）	24	17	17

\*1 合格数より入学者数が多くなっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置により、2020年度（4月期）合格者1名の入学時期を延期したため。

\*2 博士論文研究基礎力審査（QE）による特別選抜を除く。

## 16 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

電話 076-264-5600

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 17 担当教員及び専門分野

各教員の主な授業科目や研究内容を知りたい場合は、金沢大学Webシラバスや、金沢大学研究者情報で確認してください。

- Web版シラバス

<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>



- 研究者情報

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/>



### ■人文学コース

担当教員	専門分野
安部聡一郎	中国古代史
アベ・デイヴィッド	文化人類学・民俗学、 Japanese American
足立 拓朗	考古学、博物館学、西アジア史
飯島 洋	日本文学、文学一般
石黒 盛久	政治思想、ルネサンス文化史、西洋近世史
市川 彰	考古学、文化財科学・博物館学、地域研究
市嶋 典子	日本語教育
一方井祐子	科学技術社会論、科学コミュニケーション論
入江 浩司	言語学、アイスランド語学
岩津 航	フランス文学、比較文学
岩本 健良☆	ジェンダー学、社会学、教育社会学
上田 望	中国文学
上田 長生	日本近世史
上森さくら	教育方法学
宇根 義己	人文地理学
岡田 努★	人格心理学、青年心理学
小高 敬寛	考古学、先史学、文化遺産学、博物館学
河合 望	考古学、エジプト学、文化遺産学、博物館学
菊谷まり子	認知心理学、比較文化心理学
久保 豊	映画学、クィア・スタディーズ
小島 治幸	認知科学、認知神経科学、脳科学、実験心理学、知覚認知心理学、生理神経心理学
小林 大祐	社会学
佐々木 拓	西洋倫理学
佐藤 文彦	ドイツ文学
渋谷 良方	英語学、認知言語学、コーパス言語学
清水 邦彦	日本文化、日本民俗学、日本思想史
菅原 裕文	西洋美術史
杉山 欣也	日本文学
高山 知明	日本語学、言語学
滝口 圭子	発達心理学、保育学、特別支援教育

武居 渡	コミュニケーション支援、手話、言語獲得
田中 俊之	ドイツ・スイス中近世史
田中 健作	人文地理学
谷内 通	学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般
田部 絢子	特別支援教育・特別ニーズ教育のシステム、衣食住等の生活科学と発達支援、当事者調査研究、北欧との比較研究
田村うらら	人類学、文化変容、モノ研究
轟 亮	社会学
テーレン・テイモ	Cultural Anthropology、Japanese Studies、Media Tourism
中島 弘二	人文地理学
根津由喜夫★	ビザンツ帝国史
能川 泰治	日本近現代史
原田 愛	中国古典文学
古市 大輔	中国清代史
堀田 優子	英語学、認知言語学、認知科学
本所 恵	教育学
ママードゥア・アイデア	ユネスコ登録地域（世界遺産、エコパーク、ジオパーク）における世代間学習、環境教育
村山 孝之	身体運動科学、認知科学
村山 恭朗	臨床心理学、教育心理学、臨床発達心理学
森 雅秀☆	比較文化学、仏教学、美術史、宗教学
守屋 哲治	対照言語学
安永 大地	言語学、心理言語学、認知科学
山口 善成	初期アメリカ文学、文化研究
山本 英輔	哲学・倫理学
山本 洋	日本近世文学、日本近世史、留学生教育
吉川 一義	生活機能賦活論
吉永 匡史	日本古代史
吉村 晋平	臨床心理学、認知行動療法、精神病理学

(注) ★は令和8（2026）年3月、☆は令和9（2027）年3月に退職予定の教員です。

#### ■法学・政治学コース

担当教員	専門分野
足立 英彦	法理学
稲角 光恵	国際法
石田 道彦	社会保障法
石尾 智久	民法
長内 祐樹	行政法
大貝 葵	刑事訴訟法
大友 信秀	知的財産法

大野 智彦	環境政策論
岡田 浩	計量政治学
岡本 宜高	現代史、イギリス外交史、ヨーロッパ国際関係史
河合 晃一	行政学
木村 高宏	公共政策論
古泉 達矢	中国近現代史、イギリス帝国史、香港史
合田 篤子	民法
佐藤 美樹	刑事訴訟法
中村 正人	東洋法制史
永井 善之	刑法
仲正 昌樹	政治思想史
中野 涼子	国際関係理論、国際関係思想、東アジア国際政治
早津 裕貴	労働法
東川 浩二	外国法
フォックス・セナン	国際関係論、東アジア国際政治史、東アジアにおける海洋問題
福本 知行	民事訴訟法
洪 淳康	経済法
本田 哲也	地方自治論
丸本由美子	日本法制史
村上 裕	商取引法
山崎 友也	憲法
ワラシー・カシム	紛争後の平和構築、民主化、国家建設

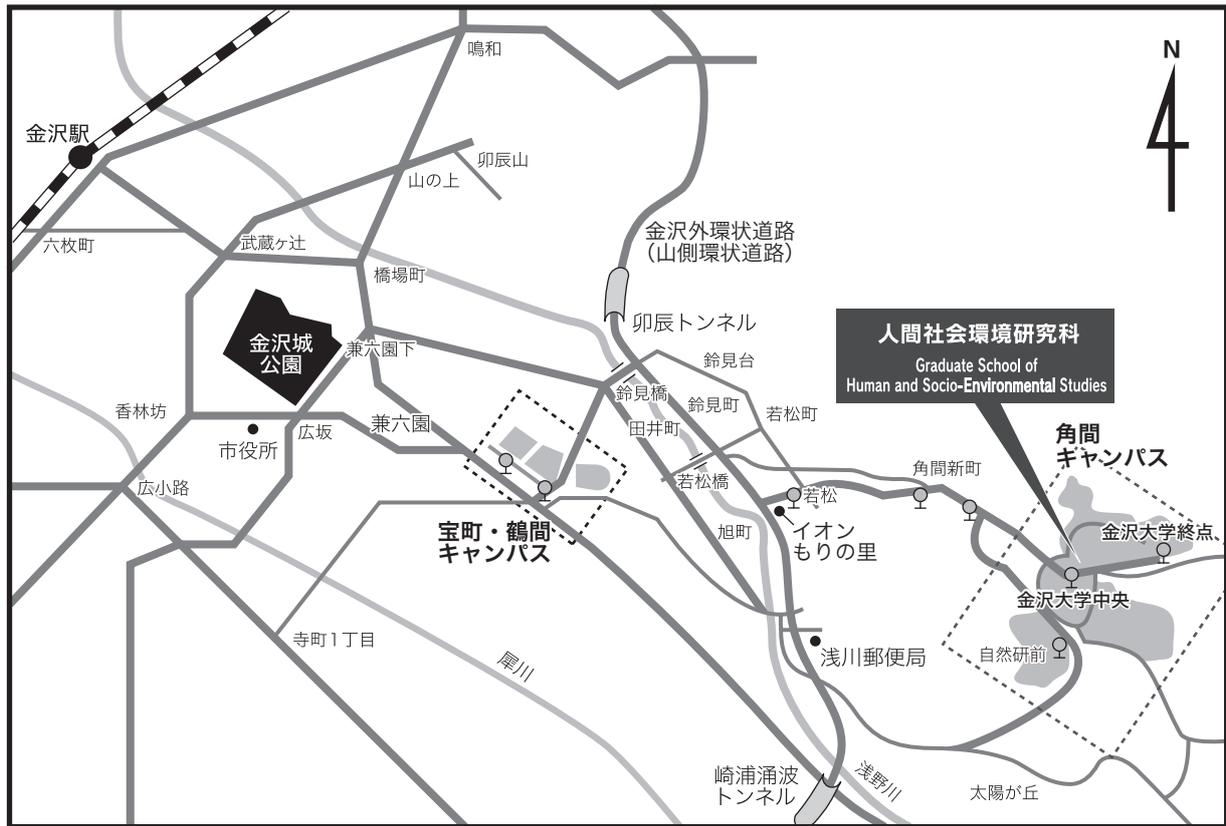
■社会経済学コース

担当教員	専門分野
井出 明	観光学（特にダークツーリズム）、アートマネジメント、社会情報学
碓山 洋★	財政学、公共政策論
小澤 裕香	社会政策、貧困対策、社会的排除
大木 一慶	マクロ経済学
加藤 篤行	応用計量経済学、国際経済学、生産性分析、貿易と成長
加藤 峰弘	金融論、銀行論
金間 大介	イノベーション論、マーケティング論
川澄 厚志	観光まちづくり、地域経営論、コミュニティ開発
小林 信介	経済史、日本史、地域史、社会運動史、移民史、民衆史
佐藤 秀樹	英仏金融史、ヨーロッパ金融
佐藤 清和☆	財務会計
佐無田 光	地域経済学
阪口 博政	管理会計（医療分野）、医療管理学
齋藤 毅	国際経営、国際人的資源管理論
白石 英巨	都市計画・建築計画、土木計画学・交通計画、まちづくり
鈴木 智気	経営管理論

瀬尾 崇	政治経済学、経済学史、進化経済学
高橋 涼子☆	社会学、福祉・医療社会学、障害学、ジェンダー学
竹島 貞治	簿記会計、会計制度、会計理論、会計史
田邊 浩	社会学
千葉 芳広	医療史、労働史、農業史、東南アジア史
張 婧	マーケティング論（サービス・マーケティング、小売マーケティング、顧客理解、価値共創）
堤 敦朗	社会福祉学、公衆衛生学、国際精神保健学
土井 妙子	カリキュラム論
林 直樹	農村計画学、生態系サービス、撤退の農村計画
藤澤美恵子	応用ミクロ経済学（実験経済学・都市経済学等）
星野 伸明	経済統計学
正木 響	経済発展論、西アフリカ経済史、貨幣・通貨、世界経済論
眞鍋 知子	社会学、地域社会学
丸谷 耕太	コミュニティ・デザイン、文化的景観、伝統工芸、ランドスケープ論
村上 慎司	社会保障論、経済哲学
森山 治☆	社会福祉学、医療福祉論、ケア論
山田菜緒子	インタープリテーション、遺産資源保全、持続的な観光、来訪者研究
柳 在圭☆	生産システム、経営工学、サプライチェーンマネジメント
和田 一哉	開発経済学

(注) ★は令和8(2026)年3月、☆は令和9(2027)年3月に退職予定の教員です。

# 金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



## 金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

### 【路線バス利用】（北陸鉄道バス利用の場合）

J R 金沢駅兼六園口（東口）から北陸鉄道バス「金沢大学（角間）」行き乗車、「金沢大学（終点）」下車、徒歩3分（人間社会第2講義棟まで）

※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分（バス所要時間約40分）

### 【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口（東口）から約30分

## 問合せ先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

T E L 076 (264) 5600

F A X 076 (234) 4167

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト  
<https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

